

峡東教育事務所
地域教育支援スタッフ
TEL 0553-20-2731
FAX 0553-20-2733

◎回覧・配付をお願いします。増し刷り配付はご自由にどうぞ。山梨県庁のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

◎ご意見・ご感想、情報提供はこちらまで。Email : hirayama-atxi@pref.yamanashi.lg.jp

～親子の会話から～

「友だち親子」という言葉をご存知でしょうか。友だち親子というのは、友達のように何でも話せる仲のいい親子という意味だそうです。しかし、この言葉には、親であるはずなのに、子どもをしつげず、子どもに媚びて甘やかす親と、親から自立しない甘えた子というイメージも含まれているようです。

その一方で、親子の会話やコミュニケーションが不足しているといったこともよく言われます。非行の原因に関する世論調査では、親の甘やかしと並んで、会話や触れあいの不足が高率を占め、親子の絆(家庭の教育力)が弱まっていると感じている人も多いようです。

「子どもとのコミュニケーションに関する調査」((株)GABA 2010年3月16日)によると、子どもと向き合って親子の会話をする時間は「15～30分未満」とする人がもっとも多く、25.0%に達しています。

た。「0分」「15分未満」と合わせると4割を超えており、多くの世帯で親子間のコミュニケーションに割いている時間が少なめであることが分かります。

携帯電話やメールといった通信機器の発達のため、一概に会話の時間が短くなったとは言えませんが、同じ家に居ながら「ごはんだよ」「お風呂に早く入りなさい」というようなメールのやりとりは、なんだか親子関係の希薄さを物語っているようにも感じます。

絆・信頼関係を築くには、お互いの人格を認めること、そして、コミュニケーションが大切な役割を果たすと考えられます。子どもとのコミュニケーションの中心は親子の会話ということになりますが、ただ会話をすればいいというものではありません。せつかくの子どもとの会話も、その対応によっては、逆に不信感を募らせてしまいます。

【 会話の時の鉄則10 】

- ①説得は納得ならず。(力より信頼こそが大切)
- ②子どもは背中を見ている。(口より態度)
- ③感情は伝染する。(親が不快なら子どもも不快)
- ④耳を澄ませば、ゴールが見える。(傾聴から全ては始まる)
- ⑤待てば海路の日よりあり。(あせってみても意味はない)
- ⑥相手の力に期待しよう。(子どもには無限の可能性がある)
- ⑦いいこと探しは、楽しい。(欠点探しは、誰でもできる)
- ⑧秘密共有が連帯の挨拶。(信頼関係こそ命綱)
- ⑨「親は親 子どもは子ども 教師また」(みんなそれぞれ生きている)
- ⑩土足厳禁。(繊細な子どもの心)

京北学園校長 川合 正「いま子供たちが変だー親子の会話を取り戻すためにー」(丸善)

子どもを支援する有効な「親子の会話」はないのでしょうか。京北学園校長 川合 正先生は教師として子どもたちと関わってきた経験を踏まえ、コミュニケーションとは話すことよりもまず聞くことだとし、「会話の時の鉄則10」を挙げています。

年末・年始、家族で過ごす時間も増えると思います。日頃できないことの一つとして、お子さんと顔と顔を合わせたコミュニケーションを図ってほしいと思います。

集まれ！ちびっこ！！

11月10日に、甲州市の塩山ふれあい文化館において、第6回甲州子どもフェスタが実施され、約300組の親子の参加がありました。

この催しは、甲州子どもフェスタ実行委員会の主催で、甲州市の子育て対策課が事務局となり、市民生活課や健康増進課、地域防災連絡会議、市内4つの支援センターや主任児童委員、食生活改善推進委員、青年会議所など多くの市民団体の協力で実施されました。

バルーンを使った親子遊び、おもちゃと絵本の交換会や子育てサークル・サロン・行政支援の紹介の情報コーナー、食育コーナー、子育て相談コーナー、防災安全コーナー、手形・足形、はらぺこ広場などたくさんのブースは、とても盛況でした。

「集まれ ちびっこ！広がれ 子育ての輪！！」のテーマのもと、多くの親子、子育て支援の輪が交流により広がりました。



保育園児の太鼓演奏



アンパンマンと一緒に



子育てミニ講座



「おくちをアーン」歯科検診



成長の記念手形



「消防車かっこいいね」

山梨児童センターまつり

10月22日（土）に、山梨市児童センターまつりがありました。日頃から児童センターを利用している児童、山梨小学校の児童などが参加しました。

今年度実習にきた学生さんが活動しているチアリーダー部の発表やビンゴゲームなどフロア一面がゲーム会場になりました。たくさん遊んだ後には母親クラブ・おばあちゃん先生お手製の焼きそばとポップコーンをおいしそうに食べる子どもたちの姿がありました。年に1度のビッグイベントは大盛況に終わりました。



チアリーダー部のパフォーマンス



ぶんぶんごまの制作



どこまで積み上げられる？



仮装したみんなでパチリ！



音楽に合わせてダンス



「ハッピー ハロウィン」

甲州市のたんぽぽ保育園と子育て支援センターのこすもす館では、10月28日（金）ハロウィンパーティーを実施しました。

ハロウィンとは、万聖節（キリスト教において11月1日にあらゆる聖人を記念する日）の前夜祭で、秋の収穫を祝うとともに、悪霊を追い出す祭りです。

日本でも季節の行事として保育園や英会話教室、家庭のインテリアなどにも取り入れられるようになってきました。子どもたちは、自分たちで作った「ジャック・オ・ランタン」のお面、魔女やキャラクターなどに仮装して参加しました。また、リーチ英会話教室のロンダ先生による英語の絵本の読み聞かせや仮装ゲームがあり、会場はとてもにぎやかでした。最後に一人ひとりが「トリック・オア・トリート」といって、お菓子をもらっていました。

山梨県立産業技術短期大学校 学園祭「産技祭」が開催されました！

県立産業技術短期大学校の学園祭第13回「産技祭」が10月29日（土）に開催されました。晴天の中、学生による模擬店やパフォーマンス、コンサートライブの催しや農業大学の野菜の販売などが行われ、甲州市内の小学生が参加した「小学生ものづくり体験塾」では、キーホルダー製作やメロディカードの製作など、それぞれの種目に熱心に取り組んでいました。

また平成25年に山梨県で開催される国民文化祭のPRイベントも行われ、マスコットキャラクター「カルチャくん」が登場し、子供たちに大人気でした。



(模擬店)



(国民文化祭マスコットキャラクター「カルチャくん」)



(小学生ものづくり体験塾：キーホルダー製作)

山梨県立産業技術短期大学校 平成24年度一般入学検定試験

産業技術短期大学校では平成24年度一般入学検定を実施します。

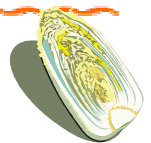
	出願期間	選考試験
前期日程	平成23年12月12日（月）～ 平成24年1月19日（木）（必着）	平成24年1月26日（木）
後期日程	平成24年 3月 1日（木）～ 平成24年3月15日（木）（必着）	平成24年3月21日（水）

※後期日程は入学予定者の状況により、学科によっては実施しない場合があります。

お問い合わせ：山梨県立産業技術短期大学校 教務学生課 電話0553(32)5201



ふれあい農産物市



11月12日（土）に、山梨園芸高校・笛吹高校附属農場において、ふれあい農産物市（収穫祭）が行われました。会場では吹奏楽部のファンファーレの合図と同時に、お目当ての農産物販売場所に行き列を作っていました。生徒が丹誠込めて育てた白菜・大根・ジャガイモなどの野菜やシクラメン・パンジー・葉ボタンなどの花、桃の缶詰やジャムが安価で販売されました。この他、おでん・すうどん・フランクフルトなどクラス毎に模擬店を出し、どの売り場も盛況でした。

高校生が自分たちの作った物を販売しながらの会話、たくさん買い物をした保護者や地域の方への運送サービスをしている姿は、まさにふれあいを感じさせる温かいものでした。



「いくら?」「300円になります」



ことぶき勸学院東八代学園の2年生も地域交流授業の一環として参加しました。

終わりの会の様子



日川高校 初の模擬裁判開廷



弁護士会の出前授業を体験しました



証拠調査

弁護士（反田先生）が、模擬裁判について説明してくださいました。



「雨宿り窃盗事件」の法廷



「判決」について意見交換

事件について班毎に判決を討議

10月8日（土）弁護士会の出前授業である「模擬裁判」を開廷しました。本校のOBでもある弁護士反田一富先生が、講師として裁判の意義・進め方をご指導してくださいました後、模擬裁判が始まりました。

裁判官、検事、弁護士、被告人、2人の証人と実際の裁判が、目の前で行われているように感じるほど、生徒が役になりきっていたのがとてもすばらしく、約45分の長いドラマが飽きることなく見学できた要因だと思います。

また、裁判後5班に分かれて判決について討議して発表しました。班内での意見交換も白熱していましたが、その後の意見交換は、さらにヒートアップし、時間で区切らなければ延々と続いたように感じました。形式にしばられない、答えのない話し合いが大成功に終了し、生徒たちの可能性の大きさに改めて驚かされた半日でした。

生徒の感想

今まで身近に感じる事がなかった裁判がとても楽しくできた。討議している中でグレーゾーンのことがいろいろな考え方があり、難しかったけれどもおもしろかった。人の意見と自分の意見は違うと言うことを理解した上で人と向き合っていきたいと思う。

模擬裁判にのめり込んでしまい、有罪・無罪の判断の難しさに集中してしまっていた。物事を判断するには、常識に対する認識が大切なことを反田先生から指摘され、普段から気をつけようと思った。

日川高校では、11月11日まで授業を公開しました。

12日（土）10:00より、京都大学の出前授業が開講されました。

